

コロナ禍での全国がん登録実務者研修会－大阪府における取り組み－

大阪国際がんセンターがん対策センター

久馬 麻希、花原 聰、石田 理恵、原 加奈子、加藤 美寿季、梶原 麻里、糸原 佳宏、
森島 敏隆、中田 佳世、宮代 勲



目的

全国がん登録実務者研修会 開催方法

～2019年：集合形式での開催

2020年：新型コロナウイルス感染症の影響により中止

2021年：オンライン形式での開催

オンライン形式にあたっての工夫と
開催後のアンケートの結果を報告する

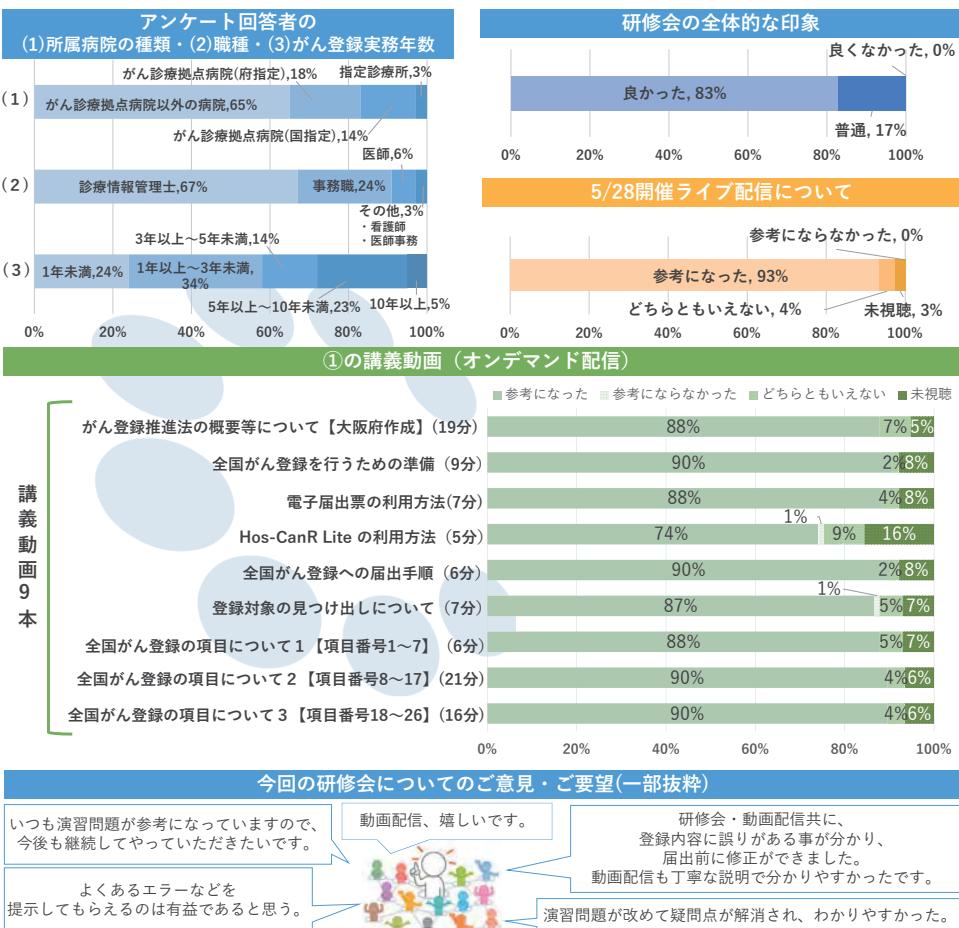
方法

3月頃～	<ul style="list-style-type: none"> オリジナル講義動画(音声入り)作成（大阪府1本+大阪府がん登録室8本、計9本） 全国がん登録システムへインポートした際にエラーとなった内容を中心に症例問題(9問)・登録対象の可否問題(5問)を作成
4/19(月)	大阪府下の全医療機関に「全国がん登録実務者研修会 案内文書」送付、参加申し込み開始
5/21(金)	参加申し込み締切
5/24(月)	下記3点を参加者へメールにて案内 ①講義動画(9本)・演習問題を掲載したホームページ、②ライブ配信の接続手順書、③事前接続テスト用
5/27(木)	事前接続テスト実施（希望者のみ）
5/28(金)	オンライン講義動画をライブ配信 ライブ配信当日 ・演習問題の解答解説(40分) 内容：症例問題(9問)・登録対象の可否問題(5問) ・事前質問の回答・質疑応答(10分)
5/31(月) ～ 6/30(水)	・アンケート収集 ・演習問題の解答・解説、事前質問の回答をホームページに掲載

結果

研修会申込施設・人数：82施設・133名 / ライブ配信参加施設・人数：74施設・108名

アンケート回答人数：77名



結論

事前準備は大変であったが、講義動画・演習問題をホームページに掲載し、ライブ配信の前後で視聴できるようにした。また、初めてのオンライン形式での開催に際して医療機関側が対応しやすいよう、接続手順書の送付・事前接続テストを行い、当日安心して参加してもらえるよう工夫した。アンケート結果からも好評だったと思われた。作成した講義動画については、大阪府下の全医療機関が視聴できるよう、新たに実務者支援ページをウェブ上に作成して周知をはかった。